



城西国際大学の6年制薬学教育



「遠くの大病院より、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

携帯サイトへ！



第103回 薬剤師国家試験合格率（新卒）

合格率 92.7%

（私立平均 84.1% 新卒）

JIU 薬学教育 ～夏から秋にかけて 主体的に取り組むアクティビティ～

九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2018 ～健康なまちづくり、健全なひとづくり～

8月24～25日、九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2018が開催されました。基調講演に、長嶺 由衣子先生（千葉大学予防医学センター）をお招きし、「人のつながりと健康 - 健康になるまちづくりへの示唆」をご講演いただきました。



実践 IPE

実践IPEは、福祉総合学部・看護学部・薬学部の学生がチームとなり、地域の医療機関・施設でチームケアを実践します。2018年度は、4つの診療所、1つの薬局および歯科診療所の6施設にお世話になりました。事前学習でそれぞれの学部生の「強み」を披露。実地研修前に、それぞれの専門職のバックグラウンドを学び、いざ研修へ！研修後は、事後学習として研修成果をプレゼンテーションします！



【事前学習】
初対面の3学部の学生がチームで調査



【実地研修】 写真は南房総市千倉町にある松永醫院（笑顔グループ）での研修の様子
外来診療、在宅医療、特別養護老人ホームや老人保健施設、地域薬局などでのチームケアを体験



【事後学習】
実践の成果を、プレゼンテーション

第27回 JIU フェスティバル

～ 軌跡 ～

27th JIU FESTIVAL
We explore the future

ハーブ園プロジェクト2018、社会薬学研究会、地域教育医療福祉センター、薬学部アクティビティーゼミ、薬学バス（模擬店）など、薬学生も大学祭を盛り上げました！



2019年度生 募集 大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

城西国際大学 入試課

TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp

<http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>

はじめて、「地域を感じる」ことができた……2018年晩夏



中澤 祐季 4年生
(千葉県 東金高校)

千葉 佳奈恵 4年生
(宮城県 塩釜高校)

江島 匠 6年生
(千葉県 長生高校)

本日は、「九十九里コミュニティヘルスケア夏期セミナー2018」に参加した4年生と「実践IPE」に参加した6年生にお話を伺いました。

皆さん、この夏には「主体的」に経験を積まれたようですが、参加動機をお聞かせください

<江島> 僕の場合は「薬学特別演習」の授業の一環だったんで、「主体的」っていうわけではないんですが……

<千葉> でも、江島さんはこの「実践IPE」を受講しようと思ったんですから、十分「主体的」ですよ！

<江島> いや……実は、僕は本当は「薬局経営」のクラスを受講したかったんですけど、抽選で落ちちゃって……それで、この「実践IPE」に参加したんだ。

<中澤> そうだったんですね。私は、今年の初めのガイダンスで、千葉3大学の連携授業（本学と千葉大と千葉科学大の連携授業）があるって知って、その中に災害医療のプログラムがあったんですけど……最近「災害」という言葉はよく耳にするけど、本当の意味での災害医療って触れたことないから、いい機会かなって、連携授業を受講することにしましたけど、その中にこの九十九里セミナーがあったから、これにも参加してみようって。

<千葉> 私は、かなりマジメに考えて参加しました（笑）別にお二人の参加動機が不真面目ってわけではないんですけど……大学の授業で、「地域に根差した」とか「高齢者医療」とかっていろいろ耳にして、実際それなりに知識は身につけてきたつもりなんですけど、なんかリアリティにかけるっていうのか……実感がわかなくて。私は実家が東松島（宮城県）なんですけど、小学生の時から1クラスしかないような、ホント田舎の町で育ってきて、実際高齢化率も高い地域で、将来は生まれ故郷で薬剤師をしているのかなって想像した時、地域医療や高齢者医療……在宅とか……もっといろいろ知っておきたいなって思って。それから、大学の近くの診療所で事務のアルバイトをしているんですけど、詳しいことは分からないけど、診療所と薬局のつながりとか、診療所と地域のつながりとか……いろいろあるみたいなんですけど、もっと何か効率的っていうのが発展的にできないのかなって思って……。だったら少しでも地域の実情に触れたり、もっと高齢者のことを前向きに考えた方がいいのかなって思って参加しました。

<江島> 千葉さんは、かなり本格的な参加動機だね。それだったら、5年か6年の授業で、絶対「実践IPE」に参加するべきだよ！

実際、どのようなプログラムだったんですか

<江島> 実践IPEっていうのは、看護学部の学生と福祉総合学部の学生と一緒にあって、地域の医療機関にインターンシップに行くプログラムなんです。もちろん、薬のことだけじゃなくて、看護師や保健師としての立場や福祉関連職の立場とか、……その中心には医療があるんですけど、包括的に生活者の健康や生活そのものを支える「現場」を体験するんです。

僕は、地元東金の「岡崎医院」さんに参加させてもらったんですけど、ほぼ1週間、毎日在宅（訪問診療）に同行してもらいました。毎日10件近くのお宅を回って……ホント失礼な言い方になってしまうんですが……老老介護のご夫婦や、独居の高齢者……もちろん在宅医療を受けてるわけだから寝たきりの方とかも多くて……ふだん、どうやって生活してるんだろう？生活は成り立ってるの？って……。車が無いと生活できないような山間部に住まわれてる方とかもいらっちゃって、食材はどうやって購入してるの？……僕だったらって考えたら……もちろん今の自分は普通に生活できているし、健康だし……想像することすら難しいんですけど、……たぶん、生きていけないって……。

<中澤> なんか、すごい体験をさせてきたんですね。私たちが参加した九十九里セミナーは1泊2日の研修で、同じように看護学部生や福祉総合学部生、あとは他の大学の学生も参加して。学生だけではなくて、地域の医療・福祉専門職の方々……医師や看護師も参加していて、地域の医療や福祉に携わる施設をグループで訪問するんです。そこで、この地域の問題とか、実際の業務内容とかについての説明を受けて、いろんな施設を訪問した人たちでもう一度グループを作って、この地域の保健・医療・福祉について、「今できること、これからすべきこと」について考えるセミナーでした。私は、東千葉メディカルセンターを訪問したんですが、病院だから薬の話もたくさん出てくるのかなって、最初は期待してはいたんですが……実際に行ってみると、その時はほとんど薬についての話題が出てこないんです。え？薬剤師って関係ないの？って思っちゃいました。話題は保険の話とか、医療制度の話とか……。でも現実的に病気を持った高齢者が生活していくってことは、そういうことなんだなって。別に薬が無力とかそういうことではなくて、優先順位としては、そういうことなんだなって。すごく勉強になりました。

<千葉> 中澤さんは病院だったんだ。そりゃ、期待しちゃうよね！薬剤師の力量が発揮できるだろうって。私は……NPO法人日本健康ケア協会に訪問で……最初は、なんでペアダンス？って（笑）でも、行ってみたらペアダンスを通じて地域コミュニティづくりへの貢献とか、カラダを動かすことでの介護予防事業とか、地域とそこに住む人たちの健康を考えて運営されてる組織だったんで、びっくりしました！もちろん……クソりの話題はありませんでしたが……。でも実際に、この活動に参加されて要介護2の認定を受けていた方が、自立した生活をおくれるようになったって仰って……。地域の健康づくりとか介護予防って、こういうことなんだなって。あとは、そこに医療をどう結び付けていけばいいんだろうって、すごく考えさせられました。

<江島> でも、ホントそうだよ。大学では、福祉関係の授業も受けてきてはいたんですけど、こうして現場を見ると、習ったはずの福祉の知識が全く活かすことができないっていうか……テストでは点数とれたつもりだったけど、ホント何にもわかってなかったんだなって……。

<中澤> なんで薬学部なのに福祉の勉強しなきゃいけないの？って思ったことのある自分が恥ずかしいです……。

<千葉> もちろん餅は餅屋だから、私たちは薬剤師を目指しているんだから仕方ない、の一言では済まされないよね。私たちが将来、薬剤師として向き合う患者さんの生活まで考える時は、福祉とかの知識とかも頭に入れておかないと、十分な支援が来るとは言えないよね。

<江島> 僕は今回の経験を踏まえてもそうだけど、地域医療は「医師」が全てって考えてたんだ。ホント、訪問診療に出向く医師が足りなくなったら、どれだけ孤独死が増えるんだろう？って。でも千葉さんや中澤さんの話を聞いていると、地域医療って言葉の解釈から考え直さなきゃなって思えてきたよ。病気と健康は裏表みたいで、僕はずっと病気のことしか見えてなかったけど、健康を考えればそこに生活があって……やっぱり福祉の重要性、社会保障全般についてもう一度向き合ったらいいのかな？って思えてきたよ。でも、そうなる……薬剤師ってこういう現場で活躍できるのかなあ……？

<中澤> そうですよ。今回は、他職種の方々といろいろお話できて、すごくいい経験になって……もっともっとお話しが聞きたいって思ってたんですけど、薬剤師の方にはお会いできなかったのが残念で……こういう「現場」で、薬剤師がどう活躍できるのか、どう必要とされているのか……

<千葉> そこは、私たち自身が薬剤師になって、地域と向き合い、新しい道を切り拓いたら……すごいことだよ！

最後に在学生の皆さんにメッセージを

<江島> そんな偉そうな感じではないし、正直なところ、実践IPEを経験してもなお、僕自身は薬剤師がどれだけ超高齢社会に貢献できるのか……。「？」が多いんです。でも、参加したからこそ考えるいい機会にもなったし、まだまだ学生で、本当の意味で薬剤師になって改めて考えなきゃいけない問題だって……。そういった意味では、この大学には地域や社会との接点がいろいろあるから、是非チャレンジするべきだと思う。いろいろなことを考えるし、教科書に書いていないことがいろいろ感じ取れると思います。

<中澤> 私は将来、なんとなくだけで薬局で働きたいなって考えてました。江島さんも正直に言うてるから、私も……なんだけど、正直、ご高齢の方を相手にするより、子どもとかにいいサービスを提供できる薬剤師になりたいなって思ってたところがあって……でも、向き合わなきゃいけない現実が、そうとも言うていられなさそう……。そうであれば、もっと前向きにいろいろ考えなきゃなって、考えさせられました。私たちは来年実習に参加するから、今回の経験を病院実習でも薬局実習でも活かせたらいいかなって。ちょうど薬局実習はこの地域の薬局だから、思い切って薬剤師としての活躍の機会について、伺ってみようかな？

<千葉> ホント、絶対参加するべきですよ！いろんな経験や考え、価値観を持った方々とお話できる機会としても、すごくいい機会だと思います。私の場合、最初は病院に就職したいなって思ってたんですけど、最後は地元の宮城・東松島で地域に関わる薬剤師として働きたいなって思って……。言い方が変だけど、看取りまで支えるって言うのか、寄り添えるような福祉・医療との関わり方ができればいいなって……。その時は、もちろんNPOとかボランティアとか、いろんな関わり方ができるのかもかもしれないけど、できれば薬剤師として何かその専門性を活かすことができればいいなって。今はまだ、何が活かせるのかもわからないけど、これからいろいろな経験を積んで、いっぱい勉強して……。

<江島> なんか今日の最大の収穫は、千葉さんがこんなにいろんなこと考えてるんだって刺激をもらったことかな？